

学校法人沖縄科学技術大学院大学学園

キャンパス内 レストラン業務委託

仕様書

目的: この提案競争のプロセスは、沖縄科学技術大学院大学(以下「大学」という)が所有するセンター棟 B 階にあるレストランで、学校のスタッフや学生、またレストランの一般利用者に対して飲食サービスを提供することを目的として実施する。このレストランは、日本国内外からの訪問者との交流の場としても機能する。

1. 業務名: 学校法人沖縄科学技術大学院大学学園キャンパス内 レストラン業務委託

2. 概要:

(1) 施設: 学校法人沖縄科学技術大学院大学学園「レストラン」

所在地	沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1番地
建物	センター棟 B 階
敷地	ホール:401.39 m ² 、個室:43.07 m ² キッチンと裏のスペース:313.99 m ²
収容数	115~135 席 個室 8 席を 2 室
利用者	平日:340 名 (2023 年度平均)

(2) 設備: 別添「平面図」、「レストラン面積」、「厨房設備器具明細表」を参照のこと。
基本的なキッチン設備と家具は大学によって設置。

(3) 人口:

	2024 年 5 月時点
職員数	1,108 名
学生数	272 名
来訪者/ 1 日平均	54 名
外国人比	職員 46%、学生 80%

(4) その他: 外部弁当業者により弁当販売がキャンパス内数か所でされている。

2024 年 9 月現在

レストラン内で外部弁当を委託販売 1 日約 150 個販売(9 月末まで)。
10 月以降、フードトラックやテーブル販売が 11 社、各日 2-3 社が出店。
11 社の内スイーツ販売が 5 社、お弁当販売(各 30 個ほど)が 5 社、野菜の移動販売が 1 社。業者は、キャンパス内複数個所で販売を行っている(センター棟 C 階外のテラス部分、研究棟4 D 階ラウンジスペース、研究棟1駐車場など)

3. 仕様:

(1) 委託契約期間: 契約日～2028 年 3 月 31 日

ただし、受託者の業務実施状況が良好であり、学園・受託者双方が了承した場合 2030 年 3 月 31 日まで契約を延長する。受託者の運営上、受託者の責に帰すべき重大な問題が発生した場合は契約解除可能とする。

(2) 営業時間の予定:

レストランは平日にランチサービスを提供する。週末、祝日、ゴールデンウィーク、および年末年始は除く。正確な営業時間は交渉可能だが、ランチサービスは 11:30～14:30 の間で提供する必要がある。大学は内部/外部イベントの場合に営業時間の延長や週末・祝日の営業を依頼することがある。レストランは学生、教職員、事務スタッフのための会議や休憩スペースとして機能する。また、営業中に内部/外部イベントの会場としても使用することがある。

(3) 責任:

受託者は、安全で健康的かつ栄養バランスの取れた食事を大学の学生、研究者、事務スタッフに提供する。提供者は以下の点を考慮して提案書を作成することが求められる。

- ランチサービスを提供し、その内容を提案書に記載すること。
- 事前注文のディナーサービスを提供し、ピックアップを可能にすること。提供内容・方法については、事前に大学と受託者で協議を行う。
- 日本および多国籍の食の嗜好を考慮したメニューを提供すること。
- ベジタリアンとビーガンメニューを含むこと。
- できる限り地産地消を促進すること。
- イートインとテイクアウトの両方のオプションを提供すること。
- 価格は質の高い食品を適正な価格で提供すること。(現在、640 円～800 円)
- メニューは日本語と英語の両方で提供すること。
- 食材とアレルギー情報をわかりやすい形式で詳細に記載すること。
- 内部イベント(例:ワークショップなど)のケータリングサービス(弁当等)を提供すること。

(大学はスケジュールとボリュームについて事前に受託者と相談する)。

- できるだけ持続可能なサービスプロセスと手順を採用すること
(例:プラスチック製品の使用を減らすまたは廃止する。
プラスチックストローを使用しない、プラスチック袋の代わりに
紙袋を使用する、洗える箸を使用する、など)。
- 効率的なサービスを提供するために十分なスタッフを配置すること。
- 英語で注文を受けることができる十分な英会話スキルを持ったスタッフを最低 1 人カウンターに配置すること。
- 現金、楽天 Edy、QR 決済またはその他のクレジットカードなど、さまざまな支払い方法/
オプションを提供すること。楽天 Edy やクレジットカードの決済手数料については、大学
ではなく受託者負担となる。
- 大学のケータリングサービスを取り扱う場合は請求書での支払いを可能とすること。
- 大学提供の給水機を使用し、利用者が使用できる再使用可能なカップを受託者が提供
すること。

(4) 施設利用料:

大学はレストランとキッチンスペースを無償で提供する。

(5) 経費負担:

① 学園が負担する経費

- a) 大学が提供するキッチン設備の維持費。
- b) 必要な害虫駆除費用。(年 2 回)
- c) レストランの公共席スペースの床の清掃費用。
- d) レストランの営業に必要な照明費用。
- e) 地震対策にかかる費用。
- f) 大学が必要と判断するその他の費用。

② 受託者が負担する経費

- a) 皿、カトラリー、カップ、トレーなどの消耗品
- b) キッチンおよび指定されたエリアの廃棄物処理、清掃費用
- c) 原材料、衛生管理、営業費用
- d) 提供者によって生じたレストラン(天井、壁、床および大学が提供した設備)の損害は、受託者の
責任とする。
- e) 受託者は原則として大学が提供する設備を使用、

レストランの運営に必要なその他の設備(店舗名看板の張替え、新規設置を含む)がある場合は、大学の許可を得てから設置する。購入および設置費用は受託者が負担する。

f) 受託者が負担するその他の費用

費用項目		負担区分		備考
		OIST	受託者	
食堂施設設備	厨房設備	●		
	備品		●	
	食器(皿、カトラリー、カップ、トレーなど)		●	
	調理器機		●	
	給水機	●		
	客席設備	●		
食材費			●	
人件費			●	
消耗品費	厨房用品		●	
	事務用品		●	
	ユニフォーム		●	
水道光熱費	水道		●	
	電気		●	
	ガス		●	
営繕費	検査保守	●		OIST 所有設備の維持管理
	修繕	●		
清掃費	日常清掃	●	●	日常のカフェ、レストランの床清掃は OIST が実施
	定期清掃	●		大型特殊清掃
通信費	内線	●		既存品の貸与
	外線		●	直通電話設置
	Wi-Fi	●		
一般費	従業員衛生管理		●	健康診断・検便等
	営業許可関係		●	
駐車場		●		
発券機 2 台		●		現金・楽天 Edy
楽天 Edy チャージ機		●		

(6) 営業許可証: 受託者は食品衛生法に基づく営業許可証(営業許可証)の申請を行う。許可取得に関するすべての費用は受託者が負担。保健所による立入検査は受託者が対応。許可証の認証コピーを大学に提出する。

(7) 衛生管理: 受託者は法に定められた衛生および衛生ガイドラインを遵守する。

(8) 地震対策: 受託者は大学が推進する地震対策を遵守する。

(9) 緊急対応: 災害や事故が発生した場合、またはそのリスクがある場合、または業務の遂行を妨げる重大な事態が発生した場合、受託者は直ちに必要な措置を講じ、関係機関および大学に遅滞なく報告する。

(10) 業績評価: 受託者の業績は定期的に評価される。

改善が必要な運営分野については、レストラン契約を担当する大学スタッフと受託者の間で協議する。

以上